



自由研究 校長賞「自分で研究テーマ決めることが大切」

校長 手代木 英明

今年も2年～6年の夏休み自由研究の中から「研究の目的、内容、まとめ方」で33作品を「西原小学校 校長賞」に選びました。どの作品も力作ぞろいで、選ぶのに苦労しました。

学校代表は、6年3組 T.Cさんの「イソジンでビタミンCを調べる実験」です。T.Cさんは、5年生の時に肌の敵である紫外線の強さを調べました。そして、今年は夏の強い紫外線に負けないように、日焼けに効果があるビタミンCの研究をしました。果物、野菜、飲み物などのビタミンCの量をヨウ素液とビタミンCの酸化還元反応を利用して調べ、時間の経過や熱を加えたときの変化を調べた立派な研究でした。

子供たちが取り組んだ自由研究のテーマは、子供らしい発想でバラエティーに富んでいました。昨年度の学校代表 I.Cさんの「日常生活と血圧の変化」は、自分の体のことを調べた研究でした。今年も自分や家族、ペットなどを対象にした研究は、オリジナリティがあって愛情にあふれていました。「一日の体温の変化」「赤ちゃんの研究」「ネコ、ネコ、ネコ」「愛犬の一生」などがありました。特にユニークだったのは、「自分の大便の重さ」の研究です。最近のヘルスメーターは、100g単位で体重測定ができます。用便の前後で体重測定をして大便の重さを調べる研究でした。「かたいうんちは、軽い。ゆるいうんちは、重い。」の結論は、説得力がありました。そして、面白かったです。

また、一昨年のK.Tさんの「コンクリートの隙間に生える草」のように地域のことを調べた研究もたくさんありました。6年代表のK.Sさんの「自宅がある場所の地形とハザード分析」は西原の地形を詳細に調べて、ハザードマップを基に水害予想をしました。玉川上水緑道の樹木調査、せせらぎでのザリガニ釣り、地域の標識調べ、商店街調べなどは、実際に街を歩いて調べたところが、とても良かったです。

これらの研究は、自然の不思議に気付き、命の尊さを感じ、よく調べて分かりやすくまとめることができます。

本校では、普段の授業から子供たちの「疑問や思い、気付き」を大切にして、問題解決型の学習に取り組んでいます。ご家庭でも、お子さんの「なぜ、どうして」の疑問を大切にしてあげてください。

代表作品は、10月27日（金）の「全国小学校理科研究協議会研究大会 東京大会」公開授業まで、校長室前の廊下に展示しています。地域の皆様も、ぜひご覧ください。



校長室前に展示されている校長賞作品

* 本校のICT規定により、児童名はネット非公開です。

自由研究西原小学校代表		研究テーマ
6年	T.Cさん	イソジンでビタミンCの量を調べる実験
西原小校長賞学年大賞		
6年	K.Sさん	自宅がある場所の地形とハザード分析
5年	A.Mさん	表面張力のおもしろ実験
4年	M.Rさん	水を目の前でこおらせる実験
3年	M.Nさん	玉川上水緑道の樹木調査
2年	K.Yさん	しば犬なつの一生